

平成29年度事業報告

東日本大震災（原発災害）後、7年が経過し更に一部避難指示解除後も長期化する避難生活において多様な状況を抱える中で、地域福祉の先駆けである社協の取組みが期待されていることに鑑み、避難者支援活動を充実させながら国、県そして町の活動を補完する立場であることの使命感を持って役員・職員一同日々精進しながら業務に努めました。

1. 重点目標の評価分析

(1) 組織体制の強化

事務所の二極化体制に伴い、職員一人ひとりが熱意を持って取り組み、町民との相互信頼関係を築きながら組織基盤の強化に努めました。

(2) 被災者支援活動の推進

生活支援相談員活動とボランティア活動の調整を図りながら、がんばろう！なみえ復興支援センター運営に努め避難者支援にあたりました。

また、本会ホームページの充実と情報発信を積極的に行い、情報提供やコミュニティ構築に努めました。

(3) 介護・福祉サービスの調整

高齢者等の要援護者が安心できる各種サービスを調整し、事業継続のため人材育成に努めました。

2. 法人運営事業

(1) 許認可

浪江町社会福祉協議会定款、就労規則、諸規定の整備を行いました。

(2) 処務

適正な事務処理を行う環境の整備に努め、また本会ホームページにて事業や予算・決算等の情報公開を行いました。

① 法人全体の事業展開と予算執行管理に関する事業

② 会計事務処理要綱に基づく会計事務

③ 職員の福利厚生に関する事務

④ 公認会計士による適時指導

(3) 理事会等の開催

理事会・・・4回開催（H29/5/25・6/9・9/22・H30/3/22）

評議会・・・2回開催（H29/6/9・H30/3/29）

(4) 職員構成

事業区分	職員数 (人)					前年度
	正規	常勤	臨時	登録ヘルパー	計	
事務局 (法人運営)	6		1		7	5
生活支援相談員	1		22		23	28
サポートセンター	3	2			5	0
居宅介護支援事業所	4				4	4
合計	14	2	23	0	39	37
前年度	9	2	26	0	37	

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

3. 苦情解決体制の整備

本会事業に対する相談・苦情については、情報提供や個人の権利を擁護し解決できる体制を整えました。

4. ボランティア支援・推進事業

(1) がんばろう！なみえ復興支援センター運営事業

仮設住宅の集約に伴い、ボランティア活動の申し出も少なくなり、調整等が大幅に減少となりました。復興公営住宅等での催し等の活動の申し出については、関係機関へと繋ぎ、避難先でのコミュニティづくりの一助となる活動を後方支援的な立場で行いました。また、ニーズも避難期間とともに変化し、仮設住宅等から復興住宅等への引越支援として 2 件のボランティア活動を行いました。

(2) 浪江町社会福祉協議会ボランティアセンター運営事業

一部避難解除に合わせ、町内でのセンターを再開しました。帰町している人、帰町しようと考えている人を中心に復興支援を行い、安心して暮らせるよう環境整備を中心とした復興支援を行いました。また、帰町する予定のない町民からの相談についても、近くに帰ってきている人の環境等を優先に考え、活動調整を行いました。

【活動概要】

(延べ件数)

種別	相談	活動	活動者	活動内容：庭木伐採・家具搬入・草刈・家屋清掃等
延べ件数・人数	107	130	1,033	

- ・相談より活動が多いのは、1つの相談に対し、複数日実施しているためです。
- ・土曜日・日曜日のセンター運営が主となっています。
- ※ボランティア活動の申し出が土曜日、日曜日に集中している為です。

- ・引越しボランティア活動 (二本松市内・福島市) 実績件数 2 件

(3) 赤い羽根災害 NPO サポート募金 2 (住民支え合い活動) 助成事業

県共募の限度額 10 万円の助成事業の窓口として 17 団体が助成を受けました。

5. 避難に伴う生活支援事業

(1) 災害援助資金の特例貸付事業（町と社協の共同事業）

災害避難に伴う生活支援確保の観点から緊急融資した事業の債権管理を行いました。

	貸付額	H29 年度 償還額	H29 年度末 償還額累計	貸付残高	貸付要件
件数 (件)	1,940	22	1,763	177	18 歳以上の被災者で 一人当たり 2 万円限度
金額 (円)	38,800,000	440,000	35,260,000	3,540,000	

(2) 生活支援相談員配置事業（県社協受託）

浪江町民への見守りや情報提供、交流の場づくり等を行いました。

【活動概要】

(延べ件数)

種別	訪問(在宅)	訪問 (留守)	相談	摘要
仮設住宅	11,865	7,655	10	主な相談内容 日常生活 29.1% 健康・医療 16.9% 介護 10.7%
借上住宅	1,188	1,141	10	
帰町し居住	2,398	1,232	38	
その他	46,273	24,903	163	
計	61,724	34,931	221	

※その他：復興住宅・再建住宅・他地域再建

- ・茶話会・サロン参加：163 件 4,231 名 (延べ人数)
- ・お出かけ交流サロン（中通り避難住民をバスで送迎し、浪江町内でサロン開催）
実施回数 5 回、参加人数 145 名
- ・訪問エリア（会津若松市・桑折町・福島市・川俣町・二本松市・大玉村・本宮市・
郡山市・相馬市・南相馬市・浪江町）

(3) 生活援助資金貸付事業（町社協）・・・平成 23 年度から休止

(4) 介護保険サービス利用者負担減免・・・平成 23 年度から休止

(5) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託）

低所得世帯などの生活安定のため、相談を受け付けました。

相談件数 10 件、うち貸付件数 2 件。

(6) フードバンク事業

低所得世帯等で、制度を利用することにより生活が安定する世帯に対し、一時的な食料支援を行いました。

相談件数 14 件、うち支給決定 13 件。

6. 高齢者福祉事業の推進

(1) 日常生活自立支援事業（県社協委託）・・・0 件

(2) 福祉用具貸与事業

貸与件数・・・車いす 4 件、介護ベッド 0 件

7. 福祉車両運行事業

(1) 車いす同乗自動車貸出・・・0件

(2) 福祉バス運行

本会の支援団体と町・教育委員会に貸出を行いました。

8. 共同募金配分事業

台湾共同募金の助成を活用し広報誌「はぐくみ」を発行しました。

9. 会員等の募集

昨年に引き続き、本会会費は休止としながらも、日赤、共同募金会の会費や国内災害義援金の募集を実施しました。

(1) 社会福祉事業協力寄附金（本会への篤志寄付）

種別	平成 29 年度		平成 28 年度		平成 22 年度（参考）	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般寄付金	11	958,815	2	130,000	7	137,914
御 遺 志 金	38	1,130,000	59	1,700,000	170	4,020,000
指定寄付金	4	140,000	3	80,000	0	0
計	53	2,228,815	64	1,910,000	177	4,157,914

(2) 日赤、共同募金会費

種 別	件数	金額（円）
日赤社費	20	354,700
赤い羽根共同募金	204	223,084
歳末たすけあい募金	5	22,796

※今年度より、町内での十日市にて街頭募金を行いました。

(3) 国内災害義援金

平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金（福岡・大分）

234 人、277,699 円

10. 広報活動事業

社協だより「はぐくみ」を平成 29 年 11 月に発行しました。

本会ホームページを平成 26 年 12 月より運用開始し、情報公開・発信に努めました。

11. 介護保険事業の推進

(1) 居宅介護支援事業・・・日常生活の課題分析、ケアプラン作成、事業者との調整、町委託の認定調査

(単位：円)

種別	H29年度給付費	H28年度給付費	H22年度給付費
居宅介護支援 (要介護1～5)	9,980,570	8,673,150	15,623,724
介護予防支援 (要支援1～2)	1,249,100	1,610,100	763,983
支援計画作成	494,400	0	0
認定調査	302,400	228,960	172,200

(2) 訪問介護事業・・・在宅要援護者の身体的・家事的援助(休止)

(3) 訪問入浴介護事業(休止)

1.2. 高齢者介護事業の推進

訪問介護安心サービス事業(休止)

介護保険非該当者で単身世帯(準ずる世帯)に対する自立支援の援助事業(休止)

1.3. 障がい者支援事業

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護支援(休止)

1.4. サポートセンター事業

浪江町内での高齢者支援(町受託)

種別	総合相談	訪問介護	総合相談には町内訪問(実態把握)も含む。
延べ件数	839	1,089	

契約者：14名

・契約頂いていない町民の方でも、見守りが必要と判断した方には定期的に訪問し、体調確認や生活の様子を伺っています。